

現在活動中の隊員に今後の抱負などを聞きました



にしおか じゅんじ  
**西岡 潤二 隊員**

昭和60年生まれ  
余市町出身  
札幌市より転入

●この1年を振り返って

市内外の観光物産イベントや観光PRイベントに参加してきました。観光という分野は今まで経験のなかった分野でしたが、留萌の良いところや特徴、何が他の地域と違うのかを理解する上でよい経験になりました。

「ふくしまキッズ」や「ふるさと探検隊」をはじめ留萌の素晴らしい自然に注目し、子ども向けの自然体験活動を推進してきました。

新しい環境・職場と慌ただしい1年でしたが、周りの方々の理解と配慮で留萌での生活も慣れるこ

とができました。

●今後の抱負

地域のニーズと自分のやりたいことをうまくマッチングさせていけたらと思います。留萌管内全体の自然体験活動を推進する取り組みや国際理解に目を向けた教育活動なども積極的に行っていきたいと思っています。

●新隊員へのメッセージ

活動中は壁にぶつかることも多々あるとは思いますが、根気強く長期的な目標を持って、一緒に楽しく留萌で活動していきましょう！

●地域おこし協力隊の志望動機

大学卒業後は、ずっと札幌で販売業に就き「食」に携わりました。

今回、故郷である増毛町に戻ろうと決意し、就職情報などを調べているときに、この「地域おこし協力隊」を知りました。

食分野で募集していたので、これまでの販売経験などを生かし、役に立ちたいと強く思ったのがきっかけです。

●留萌の印象

ひさしぶりの留萌ですが、素敵な夕日と青い海が大好きです。とても過ごしやすいのは、留萌の人

の優しさが大きいと感じています。

●今後の抱負

現在は市のイベントを中心に活動しています。旭川や札幌にも行かせていただきました。

留萌には多くのおいしいものがあるので、今後はそれを広げる場を作っていきたいですね。

まだまだ不慣れな点が多いですが、皆さんに助けていただき感謝しています。1年目の目標は早く生活に慣れ、少しずつできる事を増やし、この地域で必要とされるように成長しようと思っています。



おのみゆき  
**小野美由紀 隊員**

昭和53年生まれ  
増毛町出身  
札幌市より転入



もんま あきら  
**門間 明 隊員**

昭和40年生まれ  
札幌市出身  
横浜市より転入

●地域おこし協力隊の志望動機

横浜市で販売業に就いていましたが、以前から農業に関心がありました。農業研修などの就職情報を調べていたときに、留萌市の「地域おこし協力隊」の募集に目が留まり、自分が培ってきた販売業の経験を最大限に生かせる機会だと考えて応募を決めました。

●留萌の印象

夕日の素晴らしさに驚きました。また、食べ物は何を食べてもおいしくて、特に南るもい米はとても素晴らしい味です。

留萌の人は人情味があって面倒

見もよく、食事の差し入れなどでもお世話になっていて、とても感謝しています。

●今後の抱負

一日も早く農業の知識と技術をしっかりと身に付け、今後も農業に関わっていける下地を作り、横浜にいる妻と2歳の長男を、自信を持って留萌市に迎えるつもりです。

また、農作物を収穫するだけでなく、自分の経験を生かし、加工して流通・販売までを手がける「6次産業化」を目指していきたいと思っています。

地域の未来を  
拓くチカラ  
地域おこし協力隊

都会から移住し  
ただいま留萌で奮闘中！



特集 5

お問い合わせは

政策調整課

☎42-1809

地域おこし協力隊とは

地域おこし協力隊は、総務省が推進する都市住民などの地域外の人材を地域社会に受け入れ、地域力の維持・活性化を図るものです。人口減少や高齢化などが進む地方において、地域外の人材を積極的に誘致し、定住・定着を図ることで活力ある地域づくりの一助とする取り組みです。

現在3名の隊員が活動中

市では、平成22年度より「地域おこし協力隊」を募集し、これまでに8名の隊員を迎え、地域での協力活動を委嘱しました。

委嘱期間は、おおむね1年から最長3年で、期間中、隊員は市より生活や定住への支援を受けながら、地域でさまざまな地域活動に取り組み、今後の定住・定着を目指します。これまで2名の隊員が地元企業に就職し、そのチカラを存分に発揮しています。

現在は、24年度に委嘱した1名と今年度委嘱した2名の合わせて3名の隊員が、それぞれ活動に取り組んでおり、地域の未来を拓くチカラとして期待されます。